



富山県

朝日町

Asahi Town

【ニュースリリース】

平成 31 年 2 月 22 日
朝日町役場 商工観光課**富山県朝日町「まめなけマルシェ」、日本橋とやま館で開催！**

～室町時代から受け継がれる茶の風習「バタバタ茶」体験～

【日時】 3/16 (土)・17 (日) 10:30～19:30 【場所】 日本橋とやま館 (東京都中央区)



茶会の様子 (バタバタ茶伝承館)



バタバタ茶と茶道具

富山県の最東部の町、朝日町は、平成 31 年 3 月 16(土)・17(日)の 2 日間、富山県の首都圏情報発信拠点「日本橋とやま館」において朝日町の魅力を発信する、朝日町『まめなけマルシェ ～室町時代から受け継がれる茶の風習「バタバタ茶」体験～』を開催します。まめなけは、「元気ですか？」を意味する方言です。

当日は、室町時代以前から朝日町の蛭谷(びるだに)集落で飲み継がれてきた、茶の風習「バタバタ茶」の実演、茶の淹れ方や試飲の体験コーナー。自宅で楽しめる「バタバタ茶」の茶道具(茶筌・茶碗)、シャキシャキした食感がくせになる「金糸瓜の粕漬け」など特産品の販売。バーラウンジでは、県下最古の酒蔵・林酒造場の銘酒「黒部峡」3 種(大吟醸・純米吟醸・中吟醸)飲み比べセットの提供。その他、奇跡の風景とも称され、今年 JR 西日本公式カレンダーの 4 月の写真に採用された、あさひ舟川「春の四重奏」(※)、ヒスイをはじめ多種の鉱石が打ち上る「ヒスイ海岸(宮崎・境海岸)」などの観光 PR を行います。

※あさひ舟川「春の四重奏」: 桜・フーリップ・菜の花・雪の朝日岳・白馬岳(北アルプス)が奏でる名景(4/3～4/16 見頃)

記

■開催概要

【名称】朝日町『まめなけマルシェ ～室町時代から受け継がれる茶の風習「バタバタ茶」体験～』

【日時】平成 31 年 3 月 16 (土)・17 日 (日) 10:30～19:30

【場所】日本橋とやま館(中央区日本橋室町 1 丁目 <http://toyamakan.jp/>)

- 【内容】
- 1) 茶の風習「バタバタ茶」体験(①11:00～13:00、②14:30～17:00)
 - 2) 特産品の販売(バタバタ茶葉・茶道具、金糸瓜の粕漬、ヒスイ羊かん、朝日町燻製)
 - 3) 林酒造場「黒部峡」3 種飲み比べセット+おつまみ付き(ホタルイカの燻製)
 - 4) 観光 PR(あさひ舟川「春の四重奏」・「ヒスイ海岸」「たら汁」ほか)

【主催】朝日町

【協力】朝日町観光協会、バタバタ茶伝承館



バタバタ茶



茶道具



金糸瓜の粕漬



ヒスイ羊かん



林酒造場

【一般のお問合せ先】朝日町商工観光課 TEL: 0765-83-1100 (代表)

【報道関係のお問合せ先】広報事務局ストライク&パートナーズ 担当: 大津

TEL: 070-5075-3230 E-mail: ohtsu@strike-pr.com

<参考資料>

■「バタバタ茶」について

「バタバタ茶」は、日本では数少ない後発酵茶(※)です。朝日町の蛭谷(びるだに)集落において、室町時代から仏教の茶会に用いられて、今も風習が受け継がれています。飲み方は、ヤカン茶釜で煮だした黒茶の汁を五郎八茶碗に入れ、二本合せの茶筌を振って泡立てていただきます。名前は、茶碗の中でバタバタとせわしなく茶筌を動かし、泡立てて飲むことに由来します。蛭谷地区にある「バタバタ茶伝承館」は、地域のおじいちゃん・おばあちゃんが集い、旅行者も気軽に立ち寄り、お茶会を体験していただけます(無料)。

【朝日町 TV「バタバタ茶」】 <https://www.youtube.com/watch?v=z5Fm6zFfU2I>

<注目される「バタバタ茶」の成分>

2017年から行っている、富山大学による成分分析の結果、「バタバタ茶葉」が健康、美容に効果が期待できると報告されました。

【成分の特徴】

- ・成分にサポニン、及び水溶性ペクチンを多く含むため泡立ちが良い。
- ・サポニンは、体内のコレステロールの除去、血栓の原因となる過酸化脂質の生成を抑制する。
- ・美白効果やアレルギー抑制効果が期待される。
- ・他のお茶と比べてポリフェノールが多く含まれている。
- ・飲み方としては100℃で長く煮出せば煮出すほどポリフェノールが多く溶出されることが分かった。

(※) 後発酵茶とは？

茶葉に含まれる酵素を加熱して働きを止めた後、微生物によって発酵させたお茶。代表的なものは「プーアル茶」(中国)がある。国内では「バタバタ茶」の他、「碁石茶」(高知県)・「阿波茶」(徳島県)などがある。

<生産の様子>



①茶摘み

②枝の選別

③茶葉を揉む

④室に入れる

⑤天日干し

■富山県朝日町について

富山県の最東部に位置し、新潟県糸魚川市との県境にある人口15,000人程の町。

3,000m級の北アルプスの山々が間近に聳え立ち、町最高峰の白馬岳や朝日岳から1,000m級の富山湾まで急公配のダイナミックな地形が直線距離30kmに収まる。名景・あさひ舟川「春の四重奏」、ヒスイの原石が打ち上る「ヒスイ海岸」、漁師に伝わる郷土料理「たら汁」などが知られている。



あさひ舟川「春の四重奏」



「ヒスイ海岸(宮崎・境海岸)」



日本の国石「ヒスイ」の原石



郷土料理「たら汁」

【交通】北陸新幹線「糸魚川駅」又は「黒部宇奈月温泉駅」下車。在来線で「泊駅」又は「越中宮崎駅」下車
(※東京から所要2時間50分位)

【関連サイト】

- ・朝日町役場公式サイト (<http://www.town.asahi.toyama.jp/>)
- ・朝日町観光サイト「あさひ暮らし旅」 (<https://www.asahi-tabi.com/>)